町政を問う（一般質問）

大木（おおき）　義正（よしまさ）　議員

高齢者の力を町の活性化に
新たな取組み検討する

耕作放棄地の活用

大木　高齢者の皆さんに、より一層の生きがいを持っていただくために、耕作放棄地や遊休農地に、果樹や野菜をつくってもらい、町内の学校や病院、各施設等で食材として活用してもらうことで、高齢者の生きがいと町の活性化につながると思うが、町の考えを伺う。

耕作放棄地

町長　本町の耕作放棄地は113ヘクタールで、耕作放棄地再生利用緊急対策により、荒廃の解消に努めているところです。今後、耕作放棄地の具体的な解消策の一つとして、議員指摘の通り、高齢者の生きがいづくりの観点からも、町内の学校や介護施設、病院等との連携による販売ルートを確立するなど、新たな耕作放棄地解消の取り組みについても検討してまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

婚活支援について

大木　最近は、男女が集う場が少なくなってきているので、町が主体性を持って、独身男女の健全な出会いの場を、企画、設定して、婚活を後押しすべきと思うが、町の考えを伺う。

町長　「出会いの場」については、現在白河市及び西白河郡4町村において、平成17年度から「出会い・ふれあいの会」として年2回イベントを開催し、これまでに160組のカップルが誕生しております。このうち町内の方が14名となっており、結婚まで至った方もおります。また、希望者を対象に話し方講座や身だしなみ講座を実施し、一組でも多くのカップル誕生を目指しているところです。以前、商工会主催で実施した経緯もありますが、今後も関係機関と相談を持ちながら検討してまいります。

子育て支援について

大木　子育て支援を、より一層充実させるためにも、現在取り組んでいる出産、子育て支援事業のさらなる充実をはかり、安心して子どもを生んで育てられる環境をつくっていくべきと思うが、町の考えを伺う。

町長　これまでの子育て支援事業としましては、第3子以降幼稚園・保育園無料化事業や第2子以降の子を出生した場合の子育て出産祝金、子育て支援センターの設置、ファミリーサポートセンターの開設、共働き家庭の低学年児童に対し放課後児童クラブ事業等を実施してきたところであります。また、今後も町としましても、独自の特色ある子育て支援や、アンケートの意見等を反映させ、子育て世帯のニーズを踏まえた政策の検討をして参りますので、ご協力をお願いいたします。

その他の質問

・若者定住政策のより一層の充実について
・IターンUターンの受入れ政策について